



暑いと思えば雨が降ったり。そんな季節を健康・衛生に気をつけて過ごしたいです。朝、見ていると傘を持っていない子が多いことに気がつきます。おうちでも声がけをお願いします。

「いよいよの2学期」が始まる

1学期の終業式で約束した通り、大きな事故や病気もなく子ども達が集まることができました。休み中には、大雨で大きな被害が出た地域もありました。隣の久慈市や八戸市では避難した方もおられますし、青森県や秋田県では、川の水があふれて家の中に入ったり、家が流されて壊れたりしたところもあります。お盆休みもなく、避難や掃除を続けておられます。子どもには、そういう方々にお見舞いの気持ちを持たせなければなりませんし、自分達がこうして2学期を無事に迎えられることを「ありがたいことだなあ」と思うようにさせなければならぬと考えます。

＜始業式でのお話から＞

1学期は、みなさんの働く姿が見えてきた学期でした。委員会がたくさん働いてくれました。また、学年や学級でのボランティア活動もありました。朝掃除のようにみんなのために出番を感じて動いてくれた人や、運動会の手伝いのように急なお願いでも集まってくれる気持ちのよい人達も現れました。さらに、児童会執行部で「自転車の乗り方について、自分達でできることはないか」と考えて『チェック表』をつくりました。みなさんの「自分から進んで働く姿」がたくさん見えたのでした。

2学期にも「あいさつ・そうじ・ボランティア」を広げ、さらには、仕事でも、委員会や係の活動でも、みなさんのたくさんの働く姿が見られればよいと思います。

2学期は一年で一番長い学期です。8・9・10・11・12月と5か月にわたります。土曜日、日曜日を除いても87日もあります。1日にボランティア活動を1つやったとしても87回もできます。漢字を1日10個覚えたら870個も覚えられます。

何かを続けてがんばるにしても、いろいろなことに取り組むにしても、2学期は、一番長くて一番がんばれる学期、力をつけるチャンスがたくさんある学期です。1学期に予定通りがんばれたという人も、もっとがんばれたという人も、「よし、やってやるぞ！いよいよ2学期が来た！」という気持ちがわいてきます。そうです。今日から始まる2学期は、「いよいよの2学期」なのです。

学校中のあちこちで、「あいさつ・そうじ・ボランティア」に、そして自分から進んで働くことに、みなさんががんばる姿が見られる、そんな2学期にしたいです。

終業式は、中継による終業式でしたが、どの学級も画面をしっかりと見つめて話を聞くまじめな姿に感心しました。今日も、こうして、しっかりと聞いています。この「まじめさ」が尊いのです。

みなさんのその「まじめさ」があれば、きっとたくさんのが出来るはずです。

校長先生は、始業式が始まる少し前に体育館に来ました。誰の声もしません。先生の声もしない。誰もいないと思って入って来たらそこにはもう、なんと5年生と6年生が座って待っていたのです。「おやっ」と思いました。「1学期とは何か違う」と思いました。「きっと、実りあるよい2学期になる」そんな予感がしました。さあ「いよいよの2学期」が今から始まります。

始業式は体育館で集まって行いました。きっと張りきって集まってくると思われる学期の始まりを、しっかりと味わわせたいと考えました。短時間、そして、校歌を歌うこともがまんしました。子ども達は黙って集まることができるのではないかと期待しました。学期の始まりは多少崩れてざわつくものですが、5・6年生だけでなく、しんと静まって、でも、新学期を迎えて張り切る気持ちは満ちているようなそんな空気の中で、始業式が行われたのでした。



児童会からは、「あいさつをがんばりたい」という発表がありました。

急ぎよの「校内発表会」～海の子ブラス～

夏祭りに向けて練習してきた「海の子ブラス」でしたが、新型コロナの感染拡大から、祭り前日の朝、中止の判断がされ、連絡が入りました。すでに、次の日の本番に向けて最後の練習が始まっている時間帯でしたが、先生達や子ども達で、「予定どおりあしたは集まって演奏しよう。学校で。そして、おうちの方々に都合がよかったら来ていただいて聴いていただこう。」ということになりました。



本格的な練習を始めたばかりであることや夏祭り用の短いプログラムの練習をしてきたことから、曲目は少なかったのですが、それでも、まずは、区切りの発表ができました。ありがとうございました。

みんなの作品を

見られることの豊かさ

見られないことの貧しさ



減ってしまい学校の生活が貧しい感じになってしまいます。逆に、みんなで見合えることで、生活も楽しくなり生活も気持ちに豊かな感じになります。

ホールからは、「かわいい！」という声が聞こえました。見ると、我慢して触らないで見えています。まるで「かわいい！でも触りません!!」と心の中で言っているかのようでした。

夏休みに作品展が始まりました。1～4年生は1階の「マリホール」に、5・6年生は2階の「みだしなみホール」（3年生側階段を上ってすぐ）にまとめて展示しています。

子ども達には、作った人の気持ちを考えること、そっくりそのまま返してあげないといけないことを話しています。そのため、「触ってみたいな」と思ってもがまんします。もし、マナーを守れない人がいてみんなが見られなくなるとしたら、楽しいことが1つ

秋

空の色や風から秋を感じられるようになりました。校庭では、陸上の練習で、4・5・6年生が走っています。これも、秋を感じる毎年の取り組みです。

